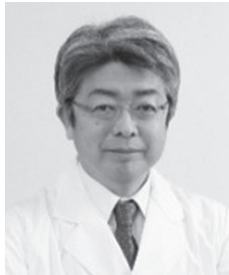


毛包上皮活性化作用を有するリンゴ由来プロシアニジン含有 サプリメントのヒト育毛作用（臨床試験）

Human hair growth effect (clinical trial) of apple-derived procyanidin-containing
supplement with hair follicle epithelial activation effect



本多伸吉

Shinkichi HONDA

株式会社イムダイン

IMMUDYNE INC.

【はじめに】

ストレスの増加に伴って脱毛や薄毛に悩む人が増えていると言われていたが、日本人では男性に加えて女性でもこのような悩みを抱えた人も多く、効果を実感できる育毛剤の開発が望まれていた。実際に男性では経口剤としてフィナステリド、外用剤としてミノキシジルが発売されているが、女性用の効果の高い製剤は発売されていない。私達はこれまでに、植物からマウス毛包上皮細胞への増殖促進活性を調べ、リンゴ由来プロシアニジンに活性があることを見出した。そこでプロシアニジンを配合したサプリメントを用いて、ヒト育毛作用を実施したので報告する。

【方法】

20 歳から 65 歳の、薄毛に悩む健康な男性 15 名（47.3 ± 6.3 歳）、女性 14 名（48.0 ± 7.4 歳）の 29 名を医師問診で既往歴などから試験に参加が問題ないことを選定し、プロシアニジンとトコトリエノールを含む食品を用いて 16 週間の臨床試験を実施し、育毛効果を検討した。

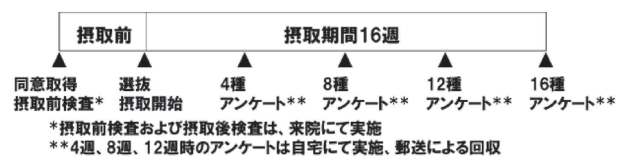


図 1 試験スケジュール

評価項目は皮膚科医による脱毛の重症度判定、頭皮状態スコア判定、頭頂部写真を用いた全般的改善度評価、体感アンケートによる主観評価、また女性のみ毛髪曲げ合成測定を実施した。スケジュールを図 1 に示す。

【結果】

表 1 に皮膚科医による頭頂部の画像評価結果を示す。判定医の平均では女性で 76.5% が、男性では 68.9% が改善を示すことが確認された。

図 2 には皮膚科医による女性の脱毛の重症度評価結果を示す。このように 16 週間の摂取で脱毛の程度が改善されることが確認された。また皮膚科医に

表 1 皮膚科医による頭頂部の画像評価

女性	改善	不変	悪化
判定医A	14 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
判定医B	9 (64.3%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)
判定医C	11 (78.6%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)
平均75.6%の改善が見られた			
男性	改善	不変	悪化
判定医A	11 (73.3%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)
判定医B	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)
判定医C	11 (73.3%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)
平均68.9%の改善が見られた			

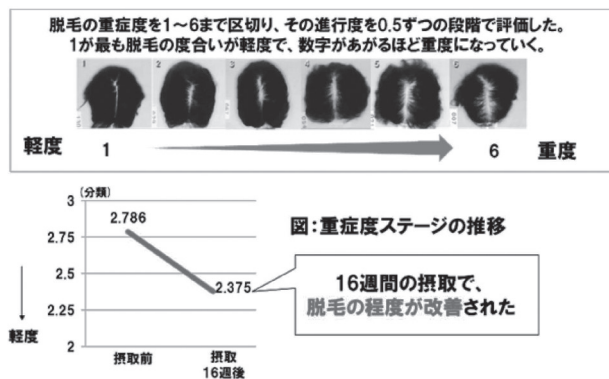


図2 皮膚科医による脱毛の重症度評価

よる頭頂部の頭皮状態評価の結果、炎症やフケの量が減少しており、アンケートでも抜け毛の本数の減少を体感することが確認できた。

【まとめ】

薄毛の気になる男女を対象に、プロアントシアニジンを含む食品を16週間摂取させ、育毛効果を皮膚科医の判定などにより検討した。その結果、男女ともに髪質と薄毛の改善が認められ、主観評価も高かった。以上から試験品は加齢による薄毛に対して有用であることが示された。